

「東御市墓地に関する市民アンケート」の集計結果報告

1 調査目的

近年は、少子高齢化や核家族化に伴う家族観の変化などにより、墓地のニーズも多様化し、また墓地の継承についての問題を抱える人たちが増える中で、合葬式墓地、樹木葬、自然葬等も増加してきています。

このような社会情勢の中で、市では本年度「東御市墓地のあり方検討委員会」を設置するとともに、今後の市の墓地行政の参考資料とするために「東御市墓地に関する市民アンケート」を実施しました。

2 調査の概要

- (1) 調査地域 東御市全体
- (2) 調査対象 満20歳以上の市民
- (3) 標本数 1,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳データより無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送による配布、回収
- (6) 調査期間 令和3年11月8日から11月26日まで

3 地区別配布数

地区	20歳以上の人口数	配布人数	回収人数	回収人数の地区別割合
田中地区	7,384人	300人	102人	24.8%
滋野地区	4,236人	168人	80人	19.4%
祢津地区	4,134人	168人	74人	18.0%
和地区	5,015人	204人	85人	20.6%
北御牧地区	3,958人	160人	64人	15.5%
不明	-	-	7人	1.7%
合計	24,727人	1,000人	412人	100%

4 回収結果

有効回収数（率） 412人（41.2%）

5 集計結果の表記方法

- (1) 結果は百分率 (%) で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。なお、複数回答等もあるため個々の比率の合計が 100%にならないことがあります。

アンケート票数の検証

右の計算式から必要な標本数を求める。

$$\frac{N}{\left(\frac{E}{K}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(100-P)} + 1}$$

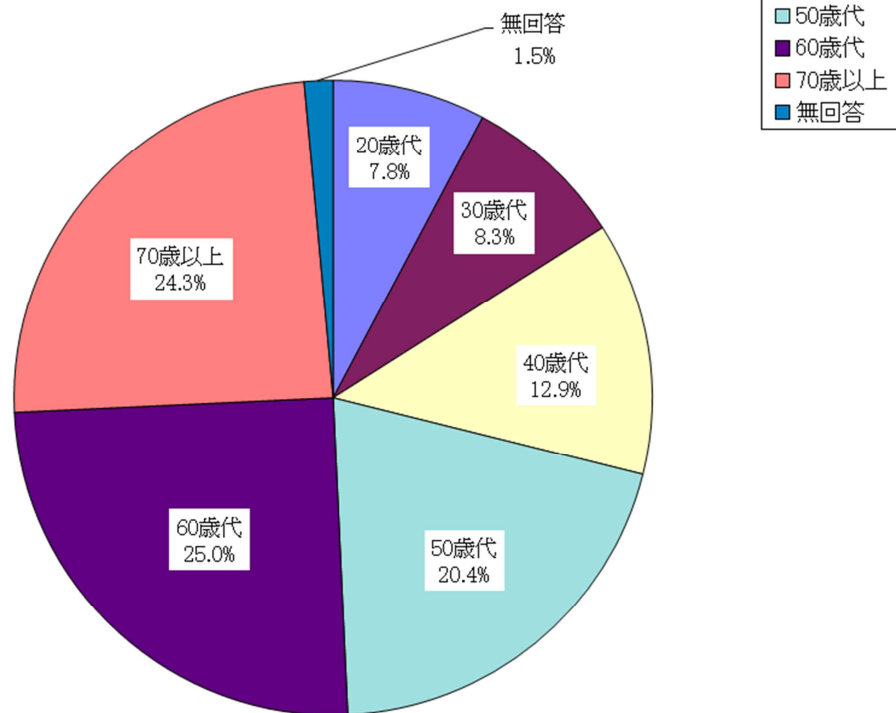
N : 全体の人数 (20 歳以上の人口 (令和 3 年 10 月 1 日現在))	24,727 人
E : 許容できる誤差の範囲 (一般的に 3 ~ 5 %)	5 %
P : 母比率 (必要標本数は 50% で最大となる)	50 %
K : 信頼度係数 (信頼度を 95% とする場合の係数 1.96)	1.96

上記の条件をもとに必要な標本数を算出すると 378 件となり、回収数はこれを上回っており信頼性は確保できると考えられる。

調査結果

問1 あなたの年齢はどれですか。

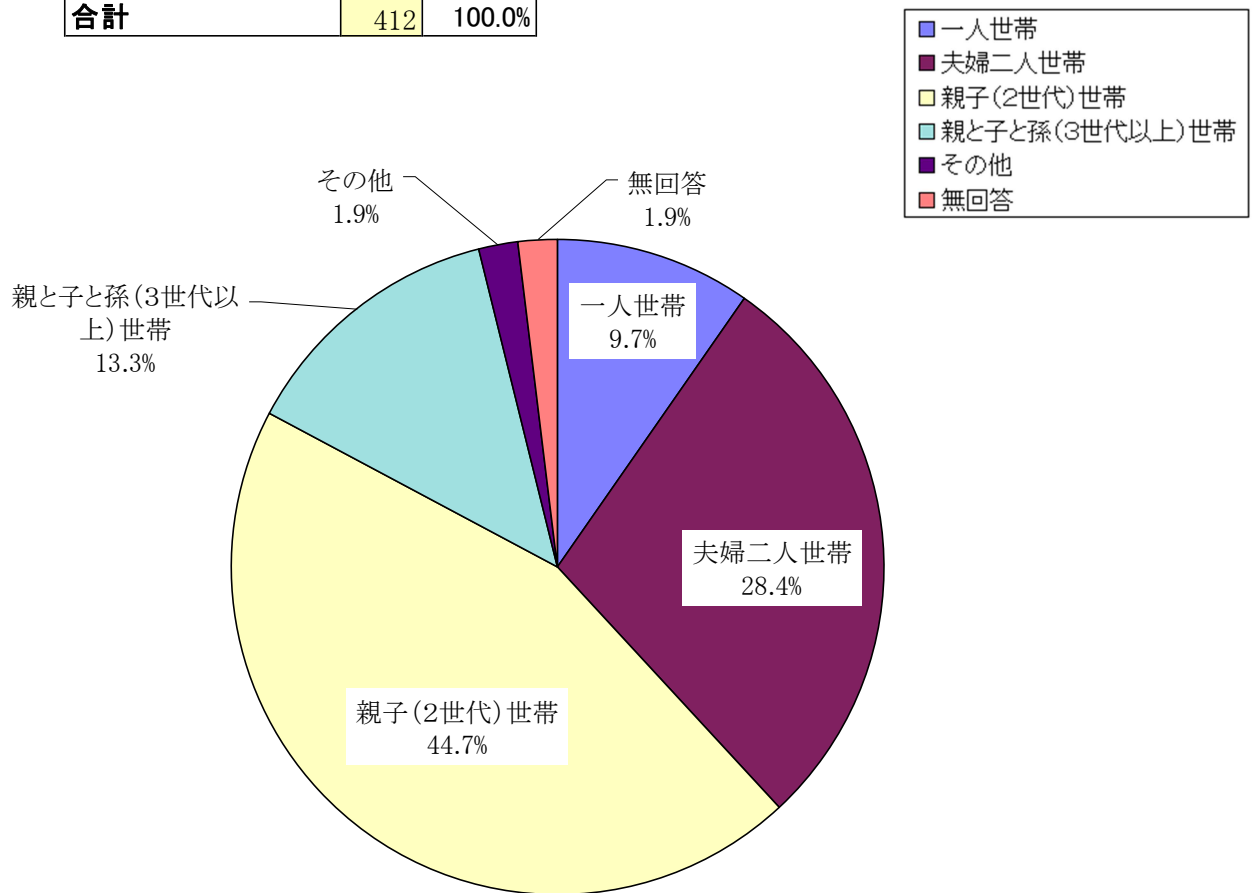
選択項目	人数	構成比
20歳代	32	7.8%
30歳代	34	8.3%
40歳代	53	12.9%
50歳代	84	20.4%
60歳代	103	25.0%
70歳以上	100	24.3%
無回答	6	1.5%
合計	412	100.0%



年齢は、60歳代と70歳代を合すると49.3%、40歳代以上では82.6%となります。

問2 あなたの世帯構成はどれですか。

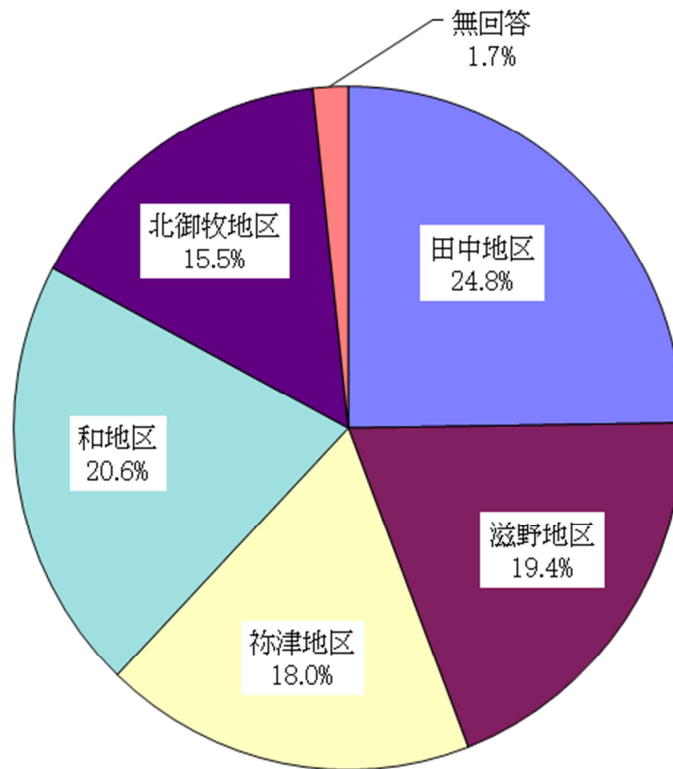
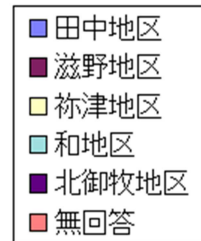
選択項目	人数	構成比
一人世帯	40	9.7%
夫婦二人世帯	117	28.4%
親子(2世代)世帯	184	44.7%
親と子と孫(3世代以上)世帯	55	13.3%
その他	8	1.9%
無回答	8	1.9%
合計	412	100.0%



世帯構成は、「親子(2世代)世帯」が44.7%と最も多く、次いで「夫婦二人世帯」が28.4%となっています。「一人世帯」は9.7%です。

問3 現在お住いの「地区」はどれですか。

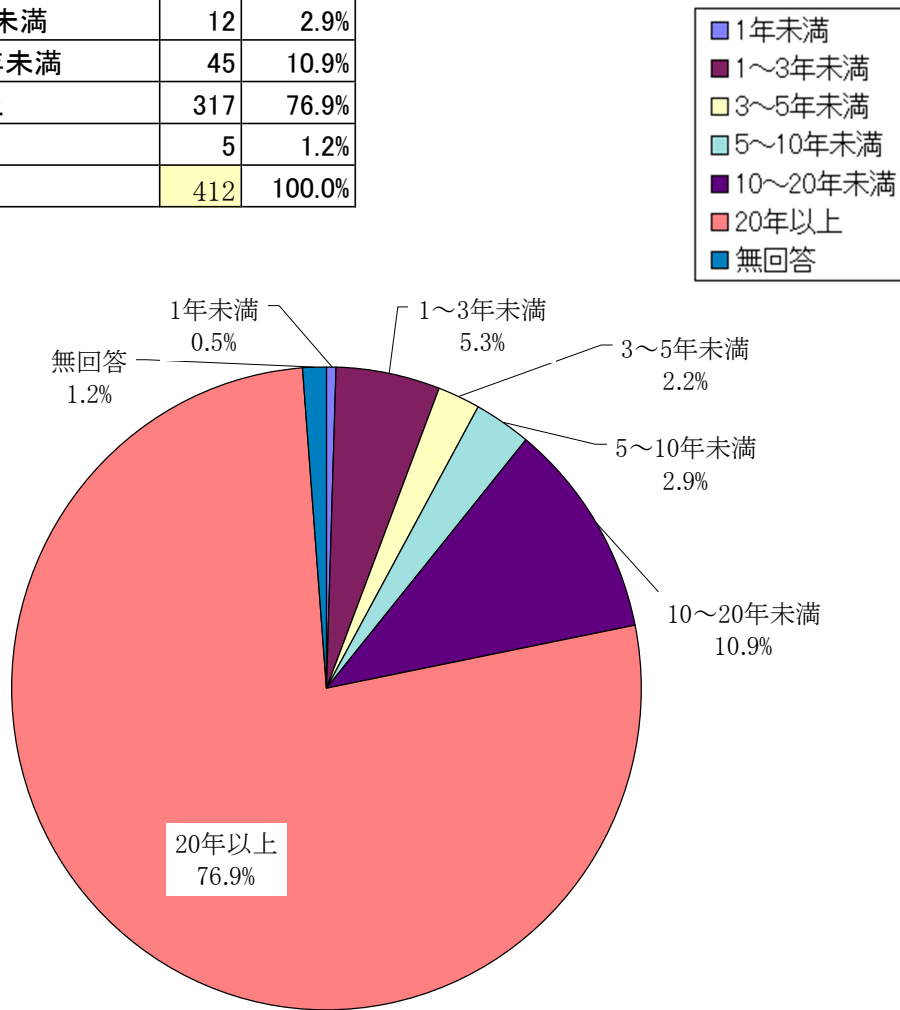
選択項目	人数	構成比
田中地区	102	24.8%
滋野地区	80	19.4%
祢津地区	74	18.0%
和地区	85	20.6%
北御牧地区	64	15.5%
無回答	7	1.7%
合計	412	100.0%



地区ごとの回答者の割合については、多い方から田中地区 102 人 (24.8%)、和地区 85 人 (20.6%)、滋野地区 80 人 (19.4%) の順になります。

問4 東御市にお住まいになって何年になりますか。

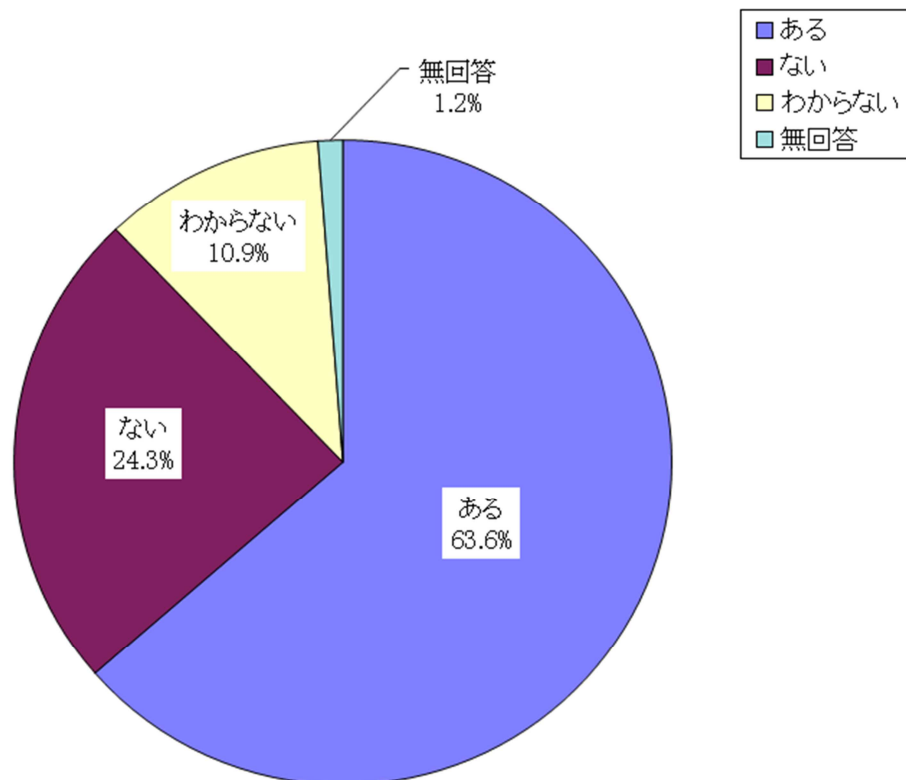
選択項目	人数	構成比
1年未満	2	0.5%
1～3年未満	22	5.3%
3～5年未満	9	2.2%
5～10年未満	12	2.9%
10～20年未満	45	10.9%
20年以上	317	76.9%
無回答	5	1.2%
合計	412	100.0%



東御市での居住年数は、多い方から「20年以上」が76.9%と最も多く、次いで「10～20年未満」が10.9%の順となっています。

問5 あなたは先祖のお墓を引継ぐ立場にありますか。

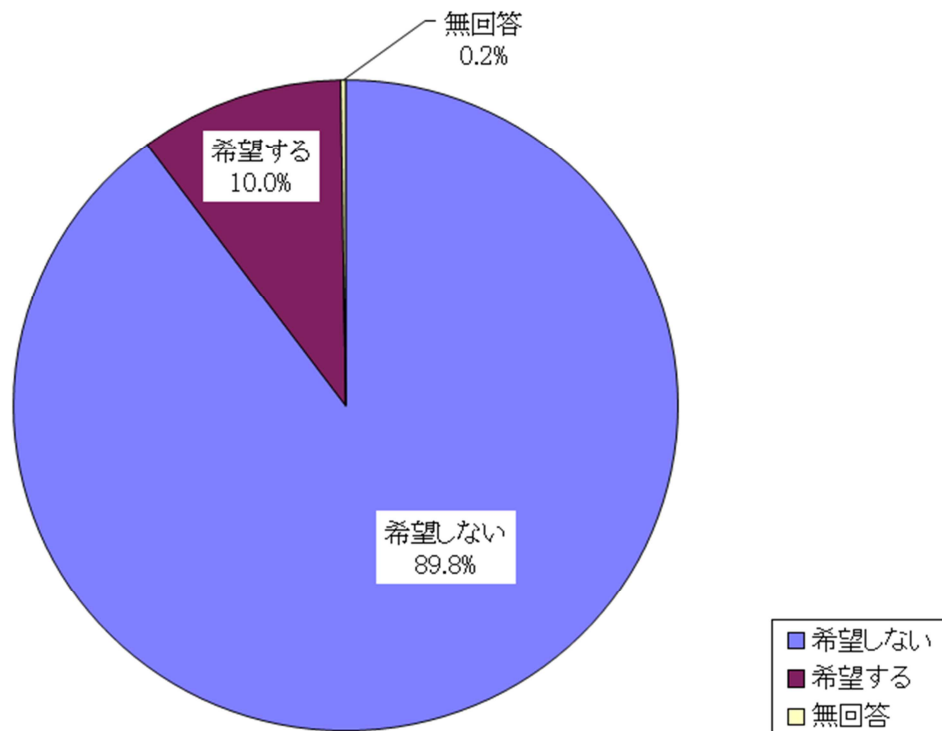
選択項目	人数	構成比
ある	262	63.6%
ない	100	24.3%
わからない	45	10.9%
無回答	5	1.2%
合計	412	100.0%



回答者に先祖のお墓を引き継ぐ立場かどうかを問うものですが、先祖の「お墓を引継ぐ立場にある」とする回答は63.6%あったのに対し、お墓を引き継ぐ「立場でない」と「分からない」という回答が合計すると35.2%となりました。

問 6 あなたは墓地の取得を希望していますか。

選択項目	人数	構成比
希望しない	370	89.8%
希望する	41	10.0%
無回答	1	0.2%
合計	412	100.0%

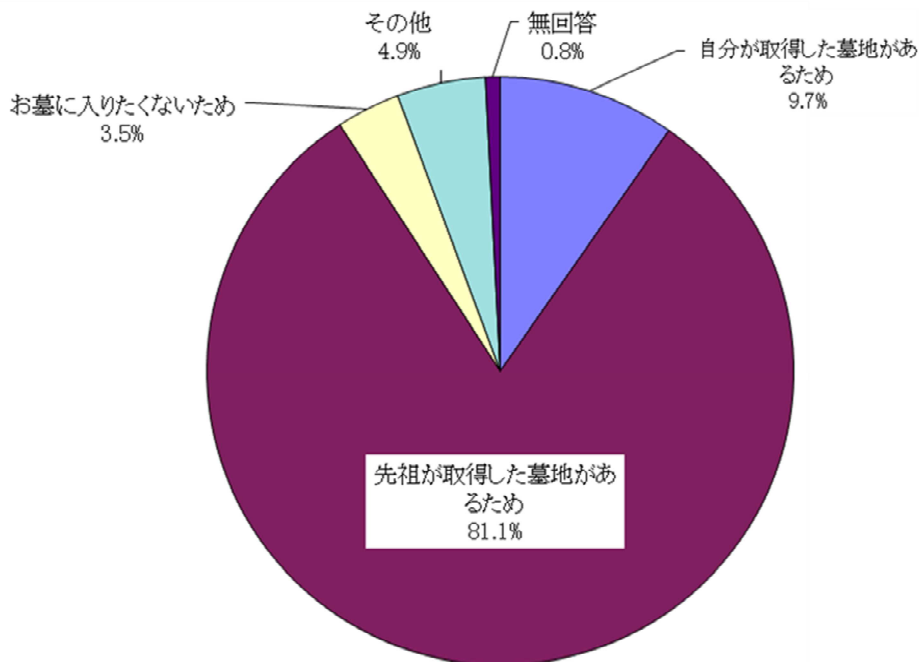
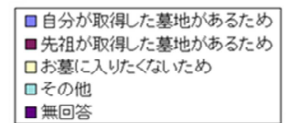


回答者の中で、「墓地の取得を希望する」とした人が 41 名の 10.0% になります。墓地離れの時代とはいえ、10 人に 1 人が取得を考えていることが分かります。

問 6 において墓地の取得を希望しない方への設問（問 7～12 まで）

問 7 墓地の取得を希望しない理由をお聞かせください。

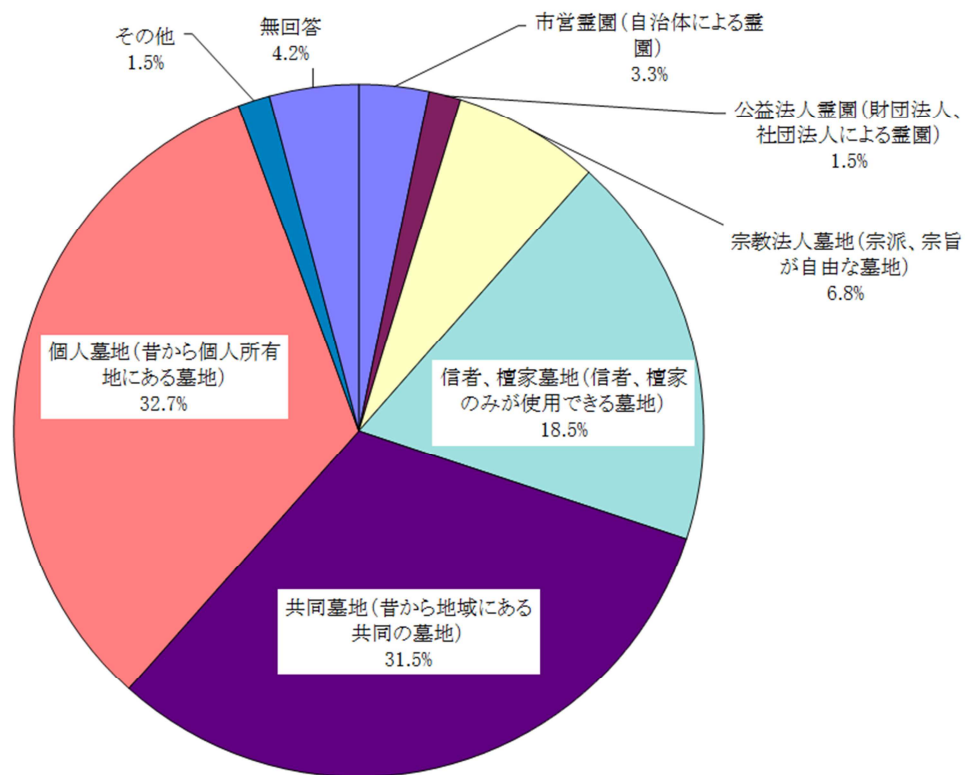
選択項目	人数	構成比
自分が取得した墓地があるため	36	9.7%
先祖が取得した墓地があるため	300	81.1%
お墓に入りたくないため	13	3.5%
その他	18	4.9%
無回答	3	0.8%
合計	370	100.0%



墓地の取得を希望しないと回答した人の理由について問うものですが、「先祖が取得した墓地があるため」と「自分が取得した墓地があるため」という回答を合わせると 90.8% になります。特に「先祖が取得した墓地があるため」は 81.1% と多く、先祖からのお墓を維持管理する人が圧倒的に多いことが分かります。

問 7 - 2 (問 7 で 1, 2 を 選 んだ 方) そ の 墓 地 の 形 態 は ど れ で す か。

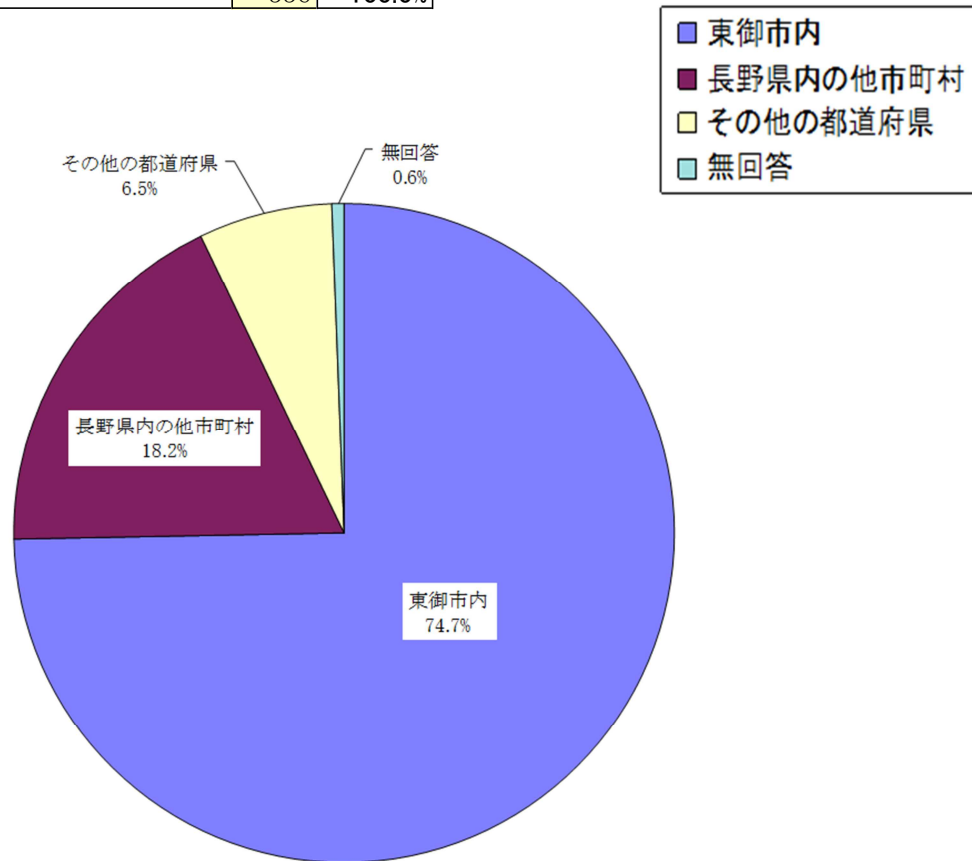
選択項目	人数	構成比
市営霊園(自治体による霊園)	11	3.3%
公益法人霊園(財団法人、社団法人による霊園)	5	1.5%
宗教法人墓地(宗派、宗旨が自由な墓地)	23	6.8%
信者、檀家墓地(信者、檀家のみが使用できる墓地)	62	18.5%
共同墓地(昔から地域にある共同の墓地)	106	31.5%
個人墓地(昔から個人所有地にある墓地)	110	32.7%
その他	5	1.5%
無回答	14	4.2%
合計	336	100.0%



墓地があると回答した人のその墓地の形態を問うものですが、多い順から「昔から個人所有地にある墓地」が 32.7%、「昔から地域にある共同墓地」が 31.5%、「信者、檀家のみが使用できる墓地」が 18.5%の順となります。今も地域に残る、「昔から個人所有地にある墓地」と「昔から地域にある共同墓地」を合わせると 64.2%になります。

問 8 その墓地はどの地域にありますか。

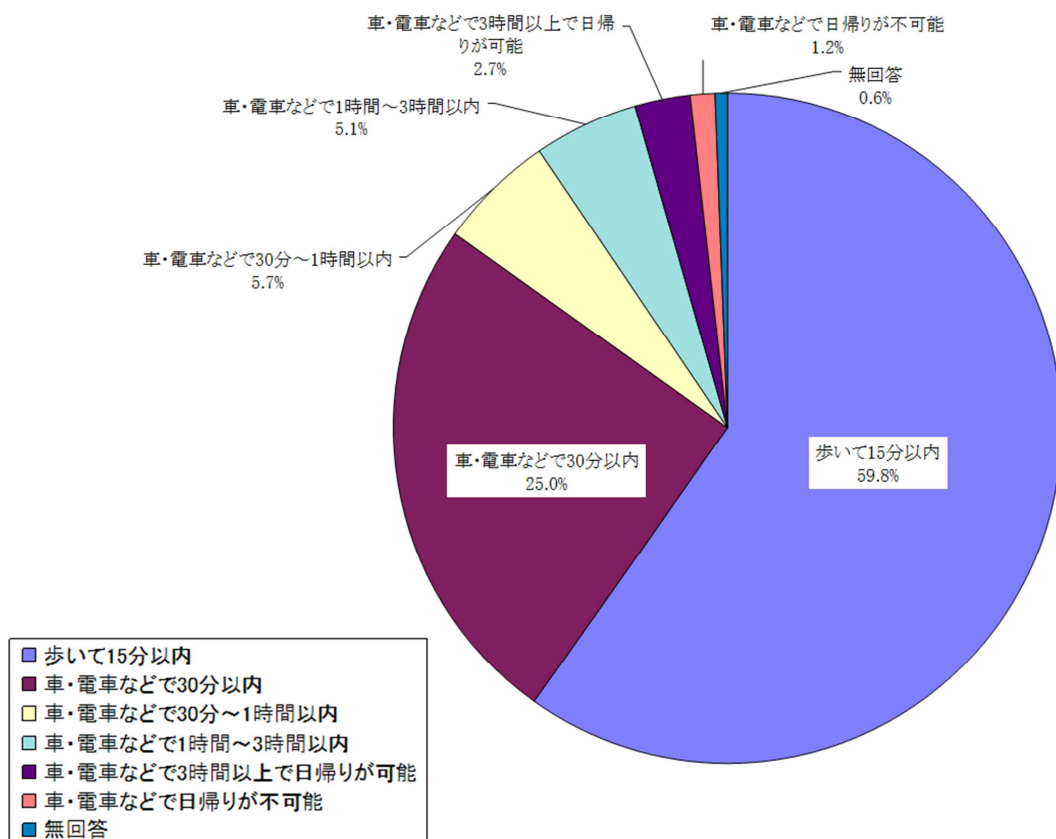
選択項目	人数	構成比
東御市内	251	74.7%
長野県内の他市町村	61	18.2%
その他の都道府県	22	6.5%
無回答	2	0.6%
合計	336	100.0%



墓地のある地域について問うと、市内に墓地を有すると回答した人は 74.7%、市外でも長野県内の市町村に有すると回答した人は 18.2%で、合わせると 92.9%になります。長野県外と回答した人は 6.5%でした。

問 9 自宅から墓地までの所要時間はどれくらいですか。

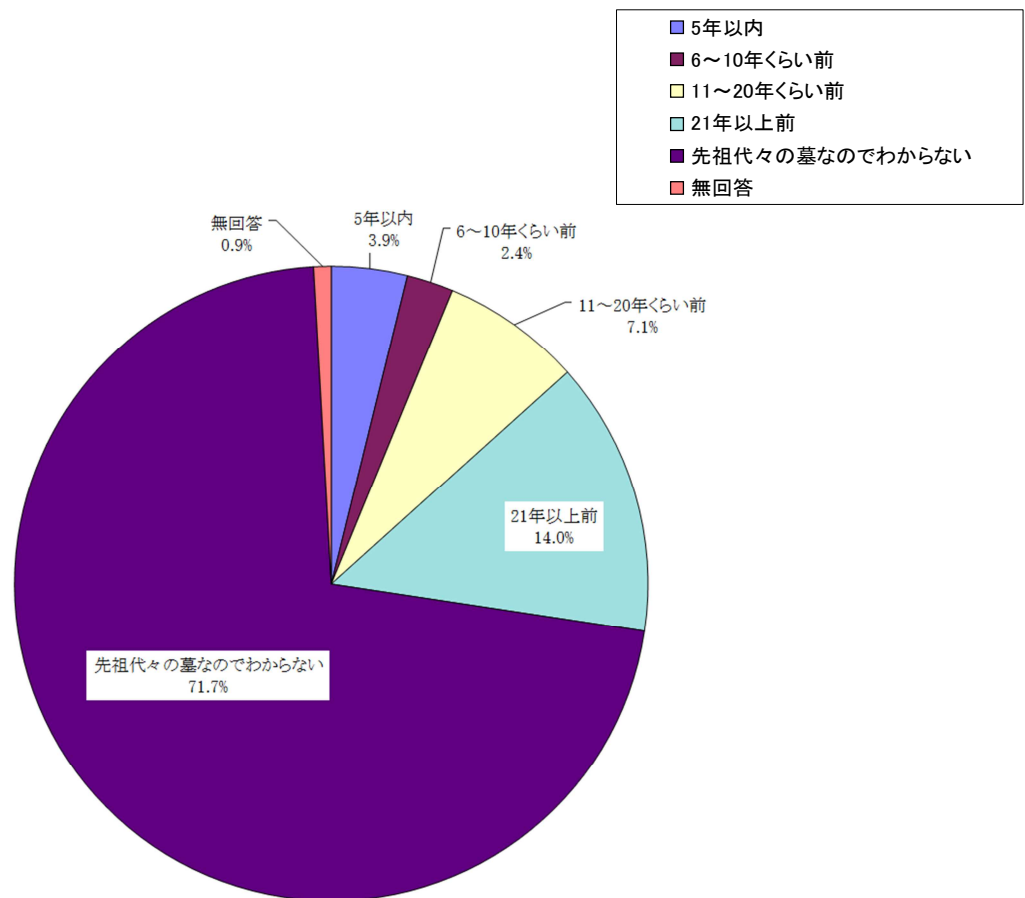
選択項目	人数	構成比
歩いて15分以内	201	59.8%
車・電車などで30分以内	84	25.0%
車・電車などで30分～1時間以内	19	5.7%
車・電車などで1時間～3時間以内	17	5.1%
車・電車などで3時間以上で日帰りが可能	9	2.7%
車・電車などで日帰りが不可能	4	1.2%
無回答	2	0.6%
合計	336	100.0%



自宅から墓地までの所要時間を問うものですが、「歩いて15分以内」とする回答が59.8%、「車・電車などで30分以内」とする回答が25.0%で、比較的近い場所に墓地を所有していることが窺えます。これに対し、日帰り出来ない場所に墓地を有すると回答した人が1.2%でした。

問 10 いつごろ取得しましたか。

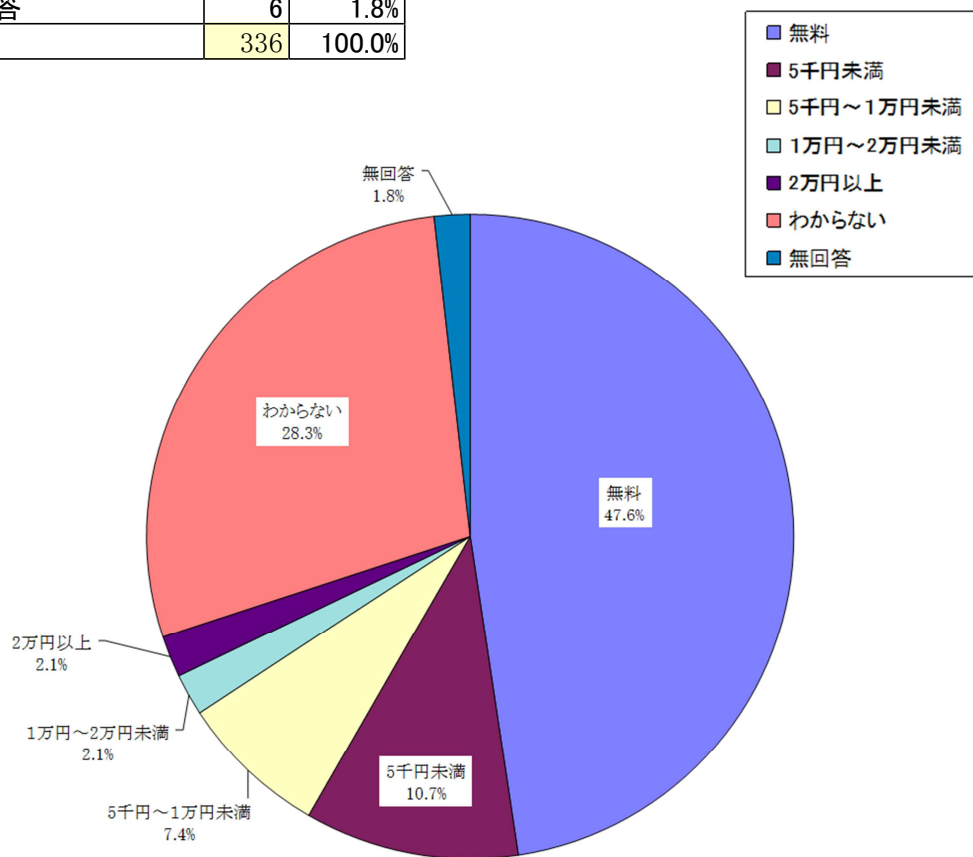
選択項目	人数	構成比
5年以内	13	3.9%
6～10年くらい前	8	2.4%
11～20年くらい前	24	7.1%
21年以上前	47	14.0%
先祖代々の墓なのでわからない	241	71.7%
無回答	3	0.9%
合計	336	100.0%



墓地の取得時期を問うものですが、「先祖代々の墓なので、取得時期はわからない」とする回答が 71.7%で、「21年以上前」とする回答が 14.0%で、合わせると 85.7%になります。先祖から引き継いだ墓地を有する人が多い反面、10年以内に取得したと回答した人は合計で 6.3%になりました。

問 11 年間維持管理費はどれくらいですか。

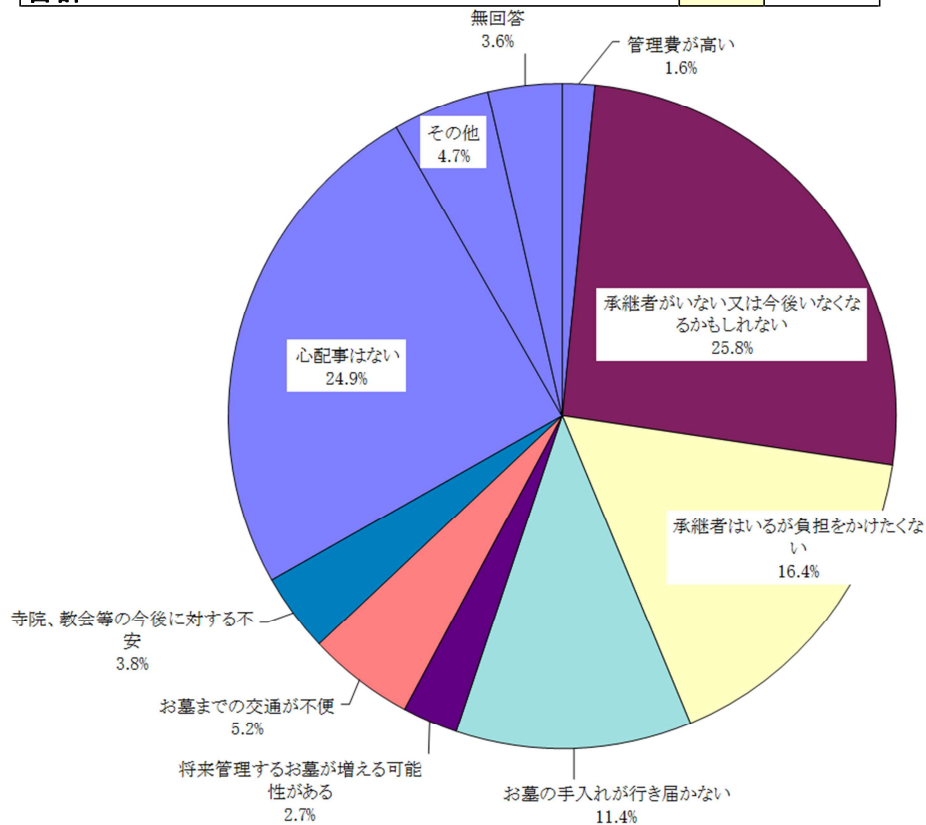
選択項目	人数	構成比
無料	160	47.6%
5千円未満	36	10.7%
5千円～1万円未満	25	7.4%
1万円～2万円未満	7	2.1%
2万円以上	7	2.1%
わからない	95	28.3%
無回答	6	1.8%
合計	336	100.0%



墓地の維持管理に要する費用については、無料と回答した人は 47.6%、分からないと回答した人が 28.3%であるのに対し、何らかの負担をしていると回答した人が合計で 22.3%でした。

問 12 墓地に関する心配ごとは何ですか。(複数回答可)

選択項目	人数	構成比
管理費が高い	7	1.6%
承継者がいない又は今後いなくなるかもしれない	115	25.8%
承継者はいるが負担をかけたくない	73	16.4%
お墓の手入れが行き届かない	51	11.4%
将来管理するお墓が増える可能性がある	12	2.7%
お墓までの交通が不便	23	5.2%
寺院、教会等の今後に対する不安	17	3.8%
心配事はない	111	24.9%
その他	21	4.7%
無回答	16	3.6%
合計	446	100.0%

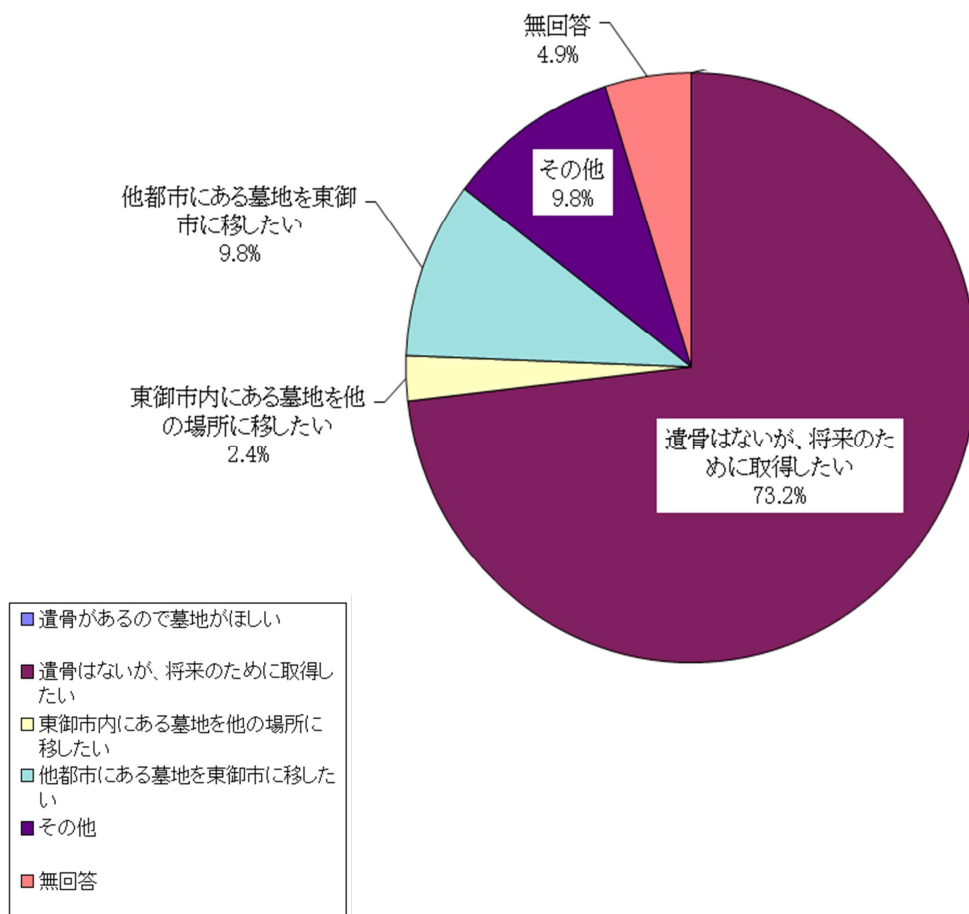


本問は、墓地に関する心配事について尋ねたものです。最も多かった回答は「承継者がいない又は今後いなくなるかもしれない」という回答で25.8%になります。「承継者はいるがその人に負担を掛けたくない」との回答は16.4%で、「お墓の手入れが行き届かない」との回答の11.4%も合わせると53.6%に上り、現在あるいは将来の墓地の管理について過半数の人が心配していることが分かります。これに対して、「心配事はない」と回答した人は24.9%になります。

問 6 において墓地の取得を希望している方への設問（問 13～17 まで）

問 13 墓地の取得を希望している理由はどれですか。

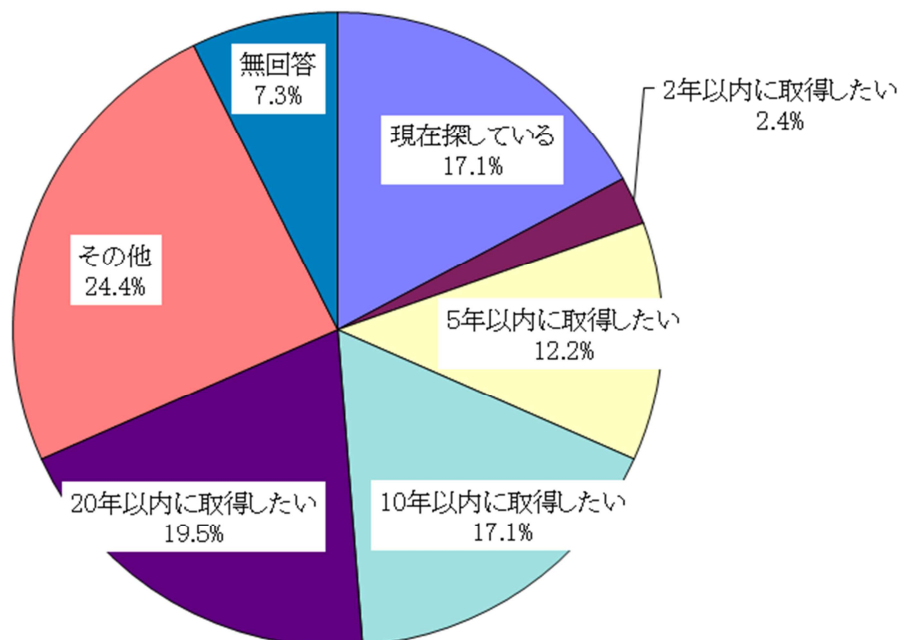
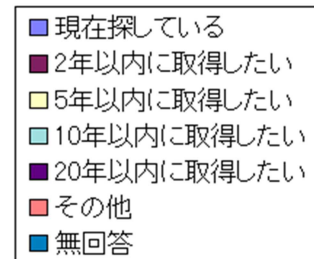
選択項目	人数	構成比
遺骨があるので墓地がほしい	0	0.0%
遺骨はないが、将来のために取得したい	30	73.2%
東御市内にある墓地を他の場所に移したい	1	2.4%
他都市にある墓地を東御市に移したい	4	9.8%
その他	4	9.8%
無回答	2	4.9%
合計	41	100.0%



墓地の取得を希望している人への設問ですが、41人中30人（73.2%）が、「遺骨はないが、将来のために墓地を取得したい」と回答しています。県外のお墓を東御市内に改葬したいと希望する人は4名（9.8%）になります。

問 14 あなたは墓地をいつごろ取得する予定ですか。

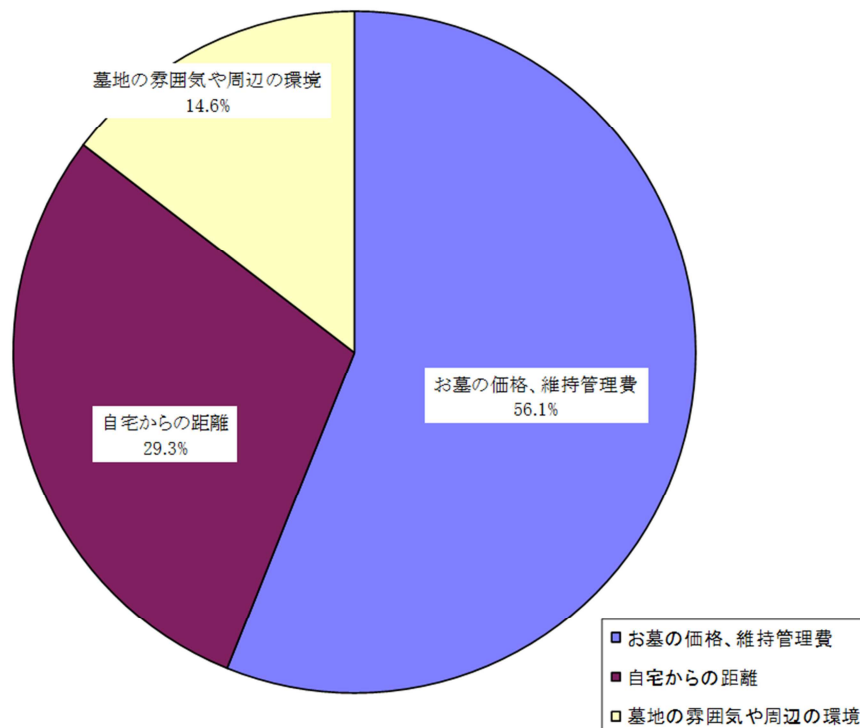
選択項目	人数	構成比
現在探している	7	17.1%
2年以内に取得したい	1	2.4%
5年以内に取得したい	5	12.2%
10年以内に取得したい	7	17.1%
20年以内に取得したい	8	19.5%
その他	10	24.4%
無回答	3	7.3%
合計	41	100.0%



墓地の取得を希望する人にその時期を問う設問ですが、現在探している人が7人（17.1%）となり、この回答も含めて20年以内に取得したいと思っている人は68.3%に上ります。5年以内に取得したいと考えている人たちは31.7%になります。

問 15 墓地を取得する時に重視する事項はなんですか。

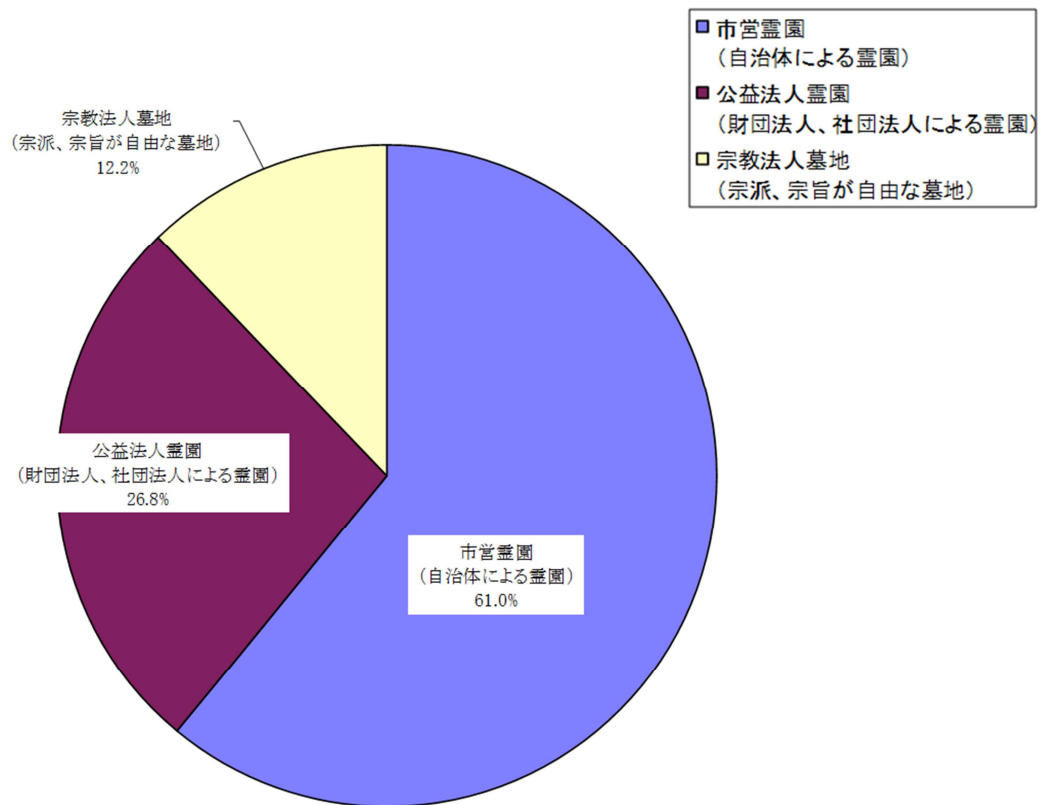
選択項目	人数	構成比
お墓の価格、維持管理費	23	56.1%
自宅からの距離	12	29.3%
墓地の雰囲気や周辺の環境	6	14.6%
合計	41	100.0%



墓地を取得する際に重視する事項について問いました。「お墓の価格や維持管理費」を上げた人は56.1%ですが、次いで「自宅からの距離」を重視する回答は29.3%、「墓地の雰囲気や周辺の環境」を重視する回答は14.6%でした。墓地を取得する人にとって、墓参をする際のアクセスや周辺の環境は重要なポイントのようです。

問 16 取得したい墓地の形態はどれですか。

選択項目	人数	構成比
市営霊園(自治体による霊園)	25	61.0%
公益法人霊園(財団法人、社団法人による霊園)	11	26.8%
宗教法人墓地(宗派、宗旨が自由な墓地)	5	12.2%
合計	41	100.0%

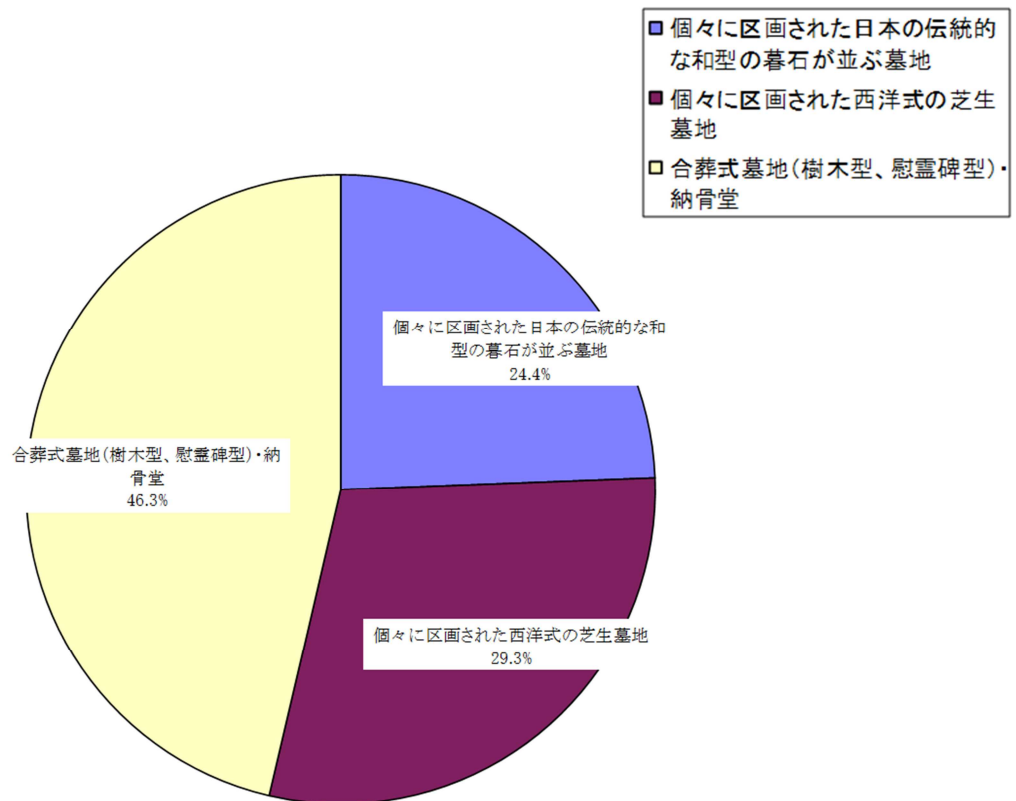


取得する墓地の形態について問う設問です。

自治体が経営する墓地を希望すると回答した人は61.0%、財団法人等が経営する墓地を希望すると回答した人は26.8%で、合わせると87.8%となります。これに対し、寺院等の墓地を希望すると回答した人は12.2%となりました。公共的な経営主体の墓地に関心が高いことが窺えます。

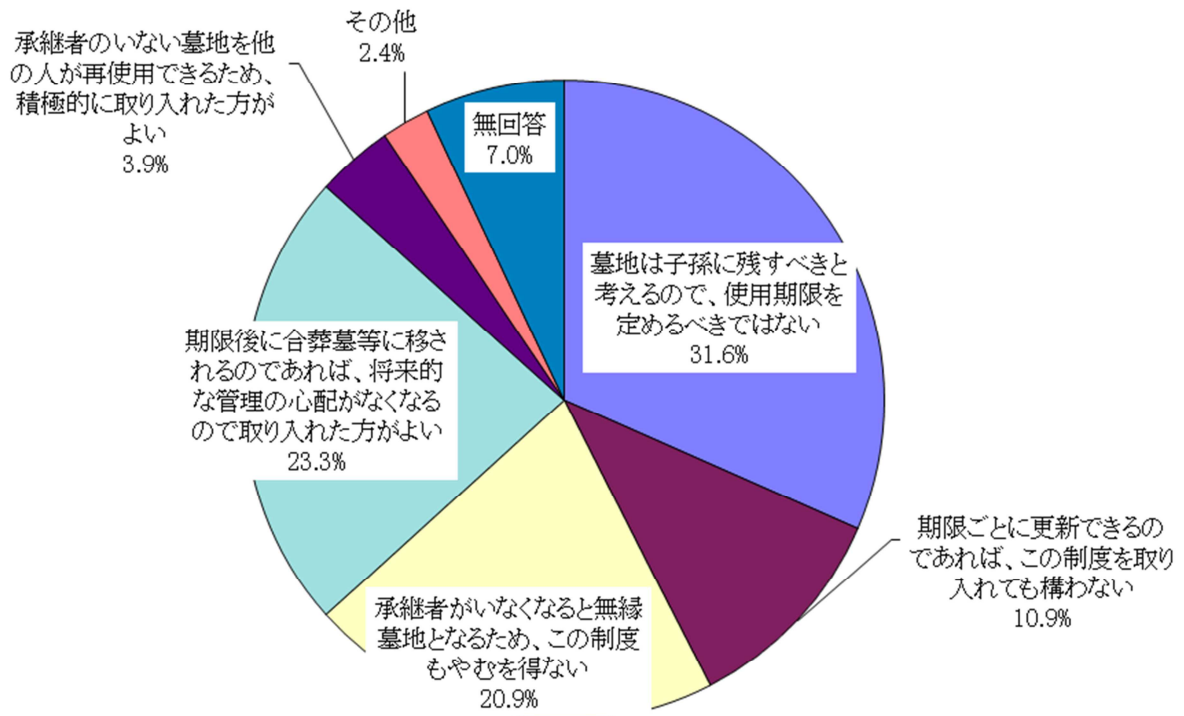
問 17 あなたが取得したい墓地の種類はどれですか。

選択項目	人数	構成比
個々に区画された日本の伝統的な和型の墓石が並ぶ墓地	10	24.4%
個々に区画された西洋式の芝生墓地	12	29.3%
合葬式墓地(樹木型、慰霊碑型)・納骨堂	19	46.3%
合計	41	100.0%



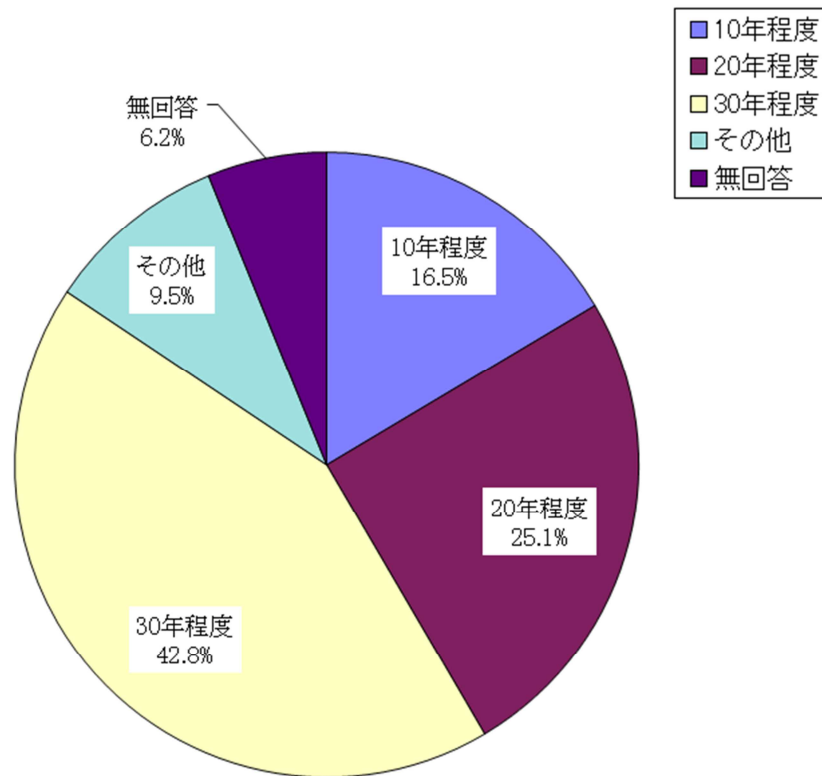
墓地の取得を希望する人に取得したい墓地の種類を問いました。昔ながらの日本の伝統的な墓地と回答した人は 24.4%で、「個々に区画された西洋式の芝生墓地」と回答した人は 29.3%でした。これに対して墓地の管理を要しない「合葬式墓地」と回答した人は 46.3%となりました。

問 18 昨今、少子高齢化に伴い墓地継承についての懸念や家族観の変化により、合葬式墓地や樹木葬などのニーズが全国的に増加しております。この様な現状において、墓地の使用期限を 10 年から 30 年に定めている霊園がありますが、このことについて、どのようにお考えですか。



墓地の使用期限を定めることについて問うものですが、定めるべきではないと回答した人は 31.6%でした。一方、積極的に取り入れた方がよい (3.9%)、合葬墓であれば管理の心配がなくなるので取り入れた方がよい (23.3%)、承継者がいなくなる場合があるのでやむを得ない (20.9%)、期限ごとに更新できるのであればこの制度を取り入れても構わない (10.9%) とする、墓地の使用期限設置を肯定する回答の合計は 59.0%になりました。

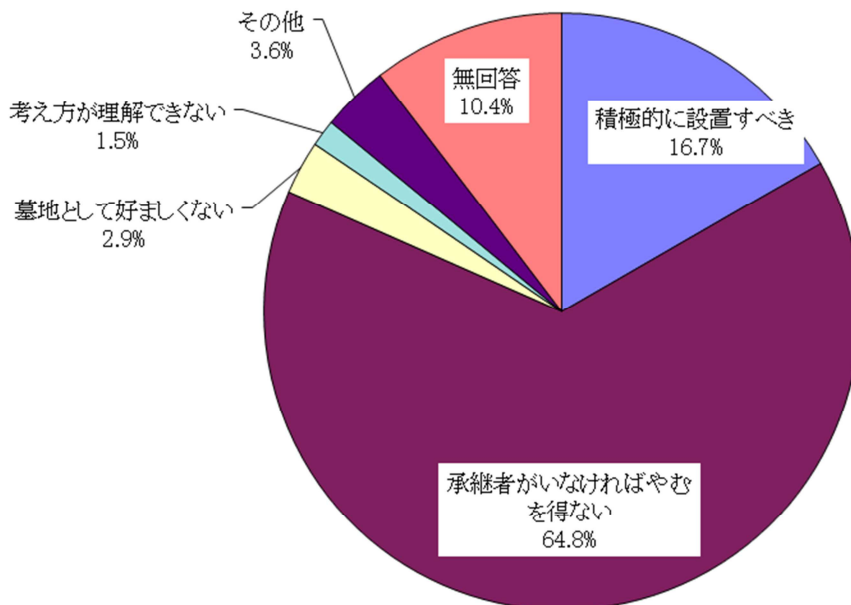
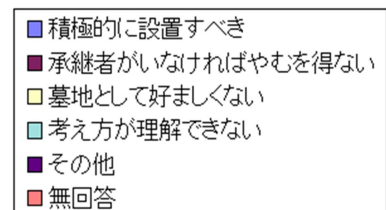
問 18 - 2 この制度を取り入れた方が良いとお答えの方は、どの程度の期限が望ましいとお考えですか。



合葬墓につき墓地の使用期限を設けた場合のその期限について問うものですが、30年程度とする意見が42.8%と一番多く、次に20年程度が25.1%、10年程度が16.5%と続きます。20年から30年という期間は1つの世代交代に要する期間に等しいと見ることもできます。

問 19 近年、比較的少ない面積で多くの遺骨を収納できる合葬式墓地が他の市町村でも、整備されています。このような墓地について、どのようにお考えですか。

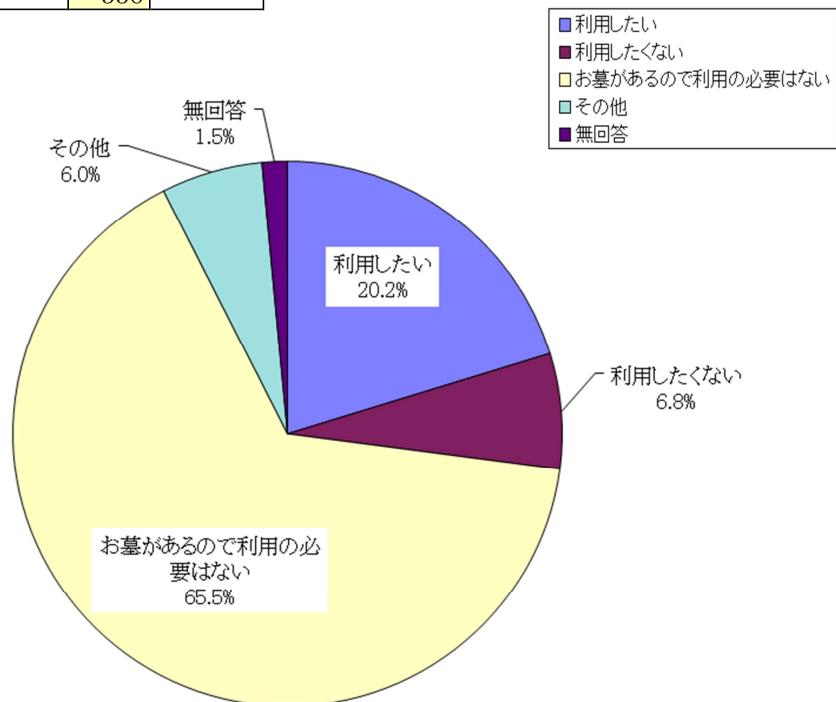
選択項目	人数	構成比
積極的に設置すべき	69	16.7%
承継者がいなければやむを得ない	267	64.8%
墓地として好ましくない	12	2.9%
考え方が理解できない	6	1.5%
その他	15	3.6%
無回答	43	10.4%
合計	412	100.0%



合葬式墓地の設置について問いました。「承継者がいなければやむを得ない」という回答が 64.8% で一番多く、「積極的に設置すべき」という回答の 16.7% を合わせると 81.5% の人が設置につき肯定的に考えているようです。一方、「墓地として好ましくない」という回答が 2.9%、「考え方が理解できない」という回答が 1.5% ありました。

問 19 - 2 今後、東御市で合葬式墓地を整備したら、あなたは利用したいと思いますか。(問 19 で 1, 2 を選んだ方)

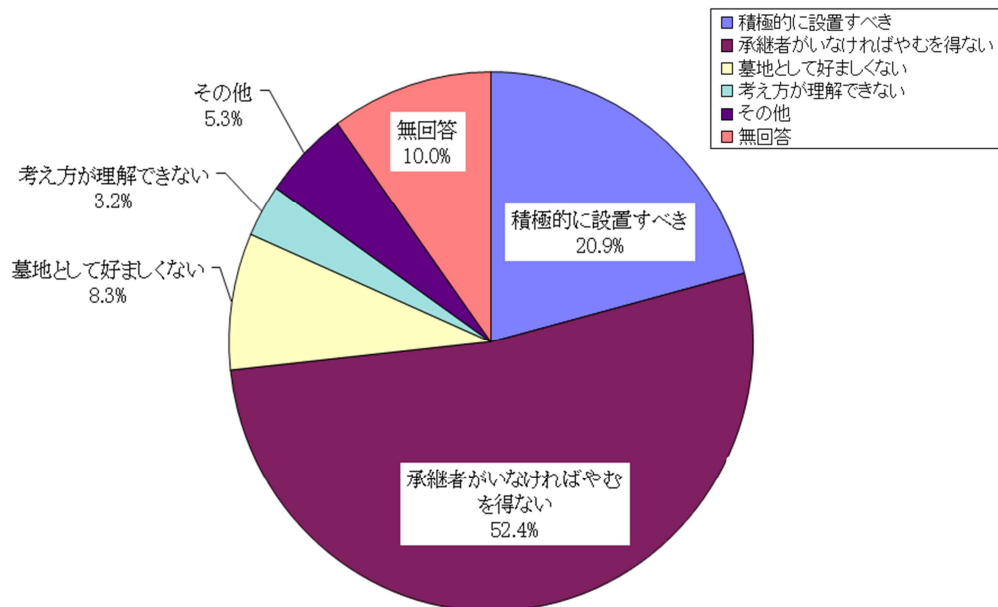
選択項目	人数	構成比
利用したい	68	20.2%
利用したくない	23	6.8%
お墓があるので利用の必要はない	220	65.5%
その他	20	6.0%
無回答	5	1.5%
合計	336	100.0%



市で合葬式墓地を整備したら利用したいと思いますかという設問に、お墓があるので利用の必要はないと回答した人は 220 人で全体の 65.5%の割合です。これに対し利用したいと回答した人は 68 人で全体の 20.2%に当たります。このことから、自身のお墓を有する人を含めて、回答者の 2 割の人が利用したいと考えていると言う結果となりました。

問 20 合葬式墓地のうち、自然に戻りたいといった志向にこたえて整備されている「樹木型」合葬式墓地について、どのようにお考えですか。

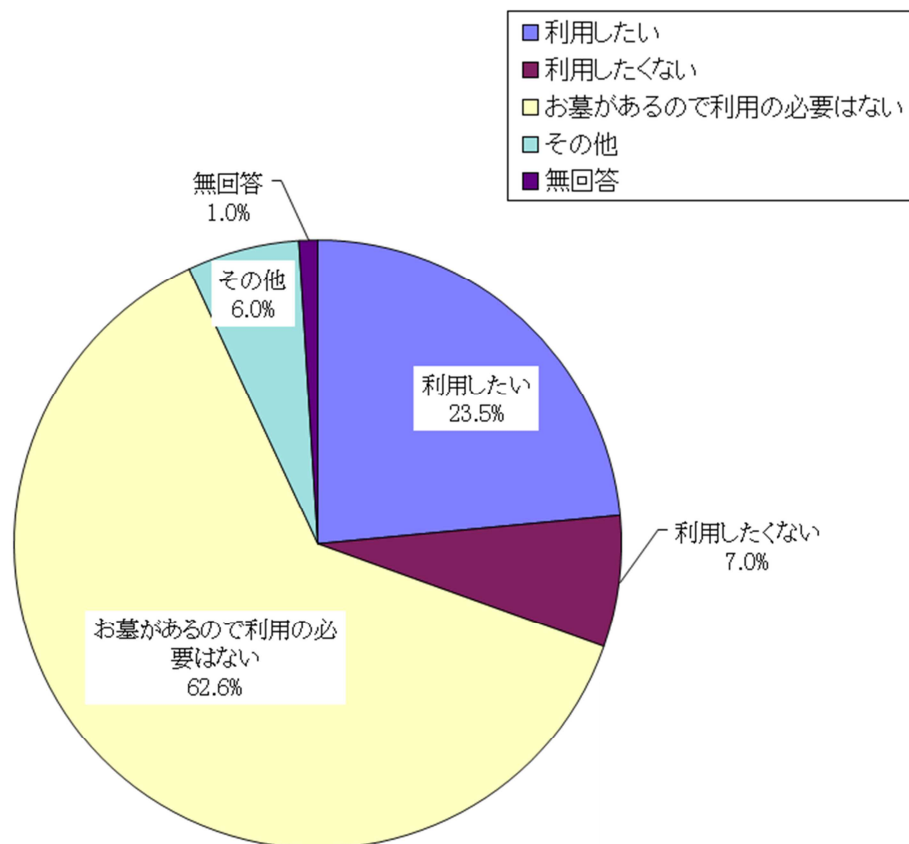
選択項目	人数	構成比
積極的に設置すべき	86	20.9%
承継者がいなければやむを得ない	216	52.4%
墓地として好ましくない	34	8.3%
考え方が理解できない	13	3.2%
その他	22	5.3%
無回答	41	10.0%
合計	412	100.0%



樹木型合葬墓についての考えを尋ねる質問ですが、承継者がいなければやむを得ないという回答が 216 人で 52.4%に当たります。これに積極的に設置すべきであると回答した 86 人の 20.9%を加えると、73.3%の人たちが設置につき肯定的な回答となっています。これに対し、墓地として好ましくないという回答と、考え方が理解できないという回答を合わせると 47 人の 11.5%の人が否定的な回答をしています。

問 20 - 2 「樹木型」合葬式墓地をあなたは利用したいと思いますか。
(問 20 で 1, 2 を選んだ方)

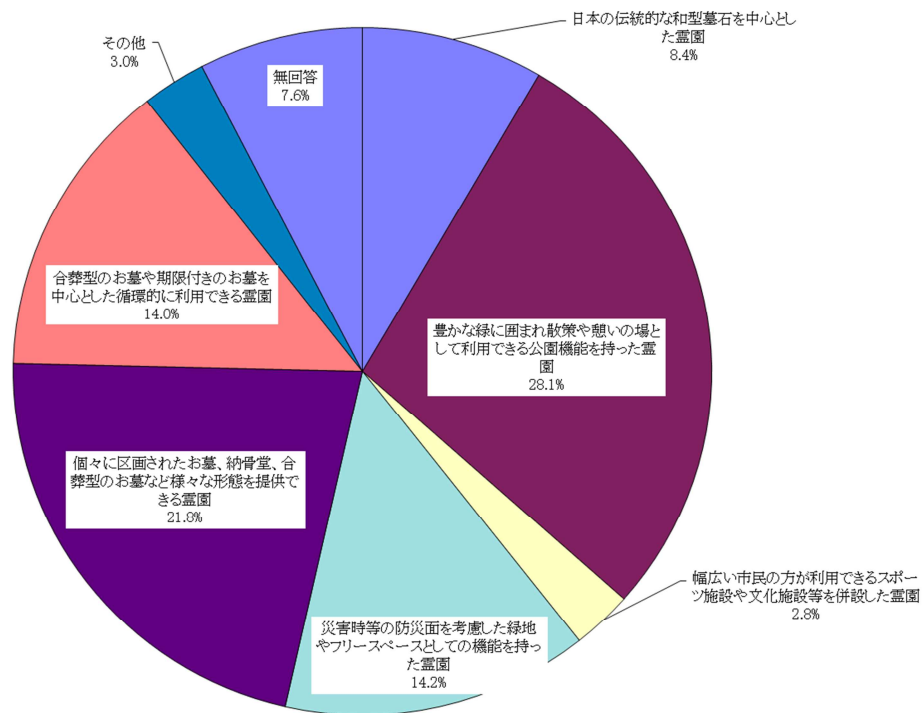
選択項目	人数	構成比
利用したい	71	23.5%
利用したくない	21	7.0%
お墓があるので利用の必要はない	189	62.6%
その他	18	6.0%
無回答	3	1.0%
合計	302	100.0%



樹木型の墓地につき利用する意思があるかを問うものですが、「お墓があるので利用の必要はない」と回答した人が 189 人の 62.6%であったものの、71 人の 23.5%の人が樹木型墓地を利用したいと回答しています。樹木型墓地への関心が高い結果となりました。

問 21 今後、東御市が市営霊園を計画するとしたら、どのような霊園にすべきとお考えですか。（複数回答）

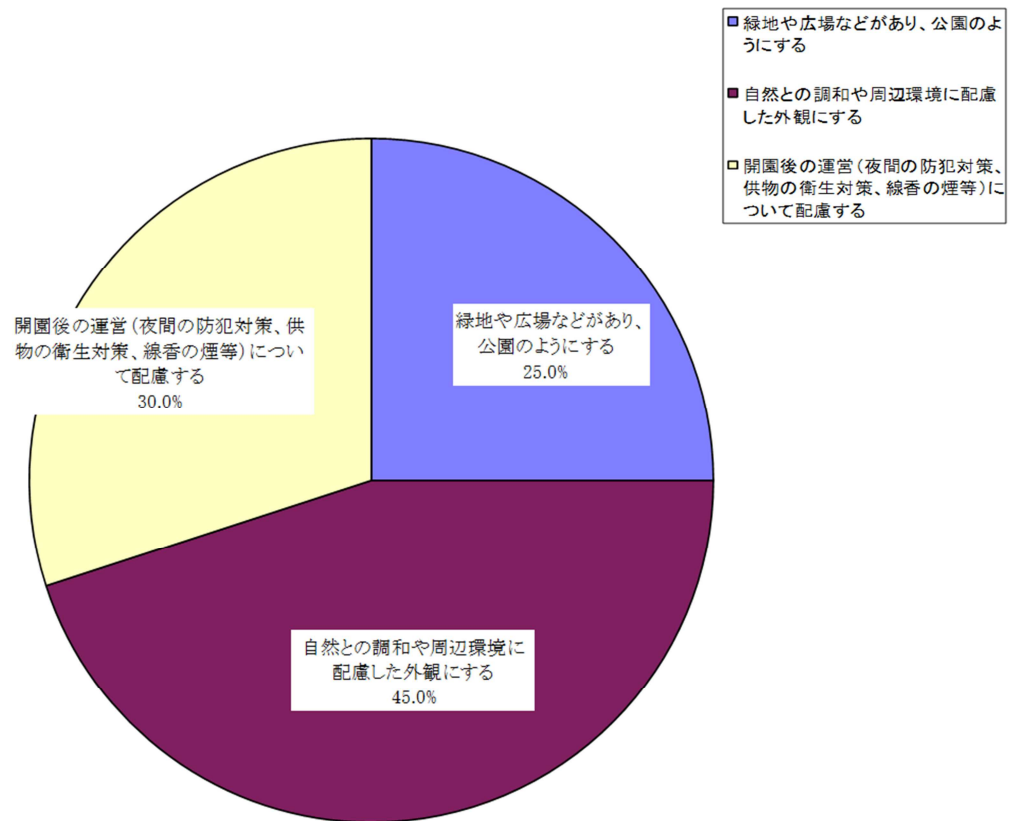
選択項目	人数	構成比
日本の伝統的な和型墓石を中心とした霊園	51	8.4%
豊かな緑に囲まれ散策や憩いの場として利用できる公園機能を持った霊園	170	28.1%
幅広い市民の方が利用できるスポーツ施設や文化施設等を併設した霊園	17	2.8%
災害時等の防災面を考慮した緑地やフリースペースとしての機能を持った霊園	86	14.2%
個々に区画されたお墓、納骨堂、合葬型のお墓など様々な形態を提供できる霊園	132	21.8%
合葬型のお墓や期限付きのお墓を中心とした循環的に利用できる霊園	85	14.0%
その他	18	3.0%
無回答	46	7.6%
合計	605	100.0%



今後、東御市が市営霊園の設置を計画する場合に、回答者の考える配慮すべき事項について、その順位は以下の通りとなりました。

- 1位 「緑に囲まれた公園機能を持った市営霊園」 28.1%
- 2位 「墓石・納骨堂・合葬型など様々な形態を提供できる市民霊園」 21.8%
- 3位 「災害時等の防災面を考慮したスペースを持った市民霊園」 14.2%
- 4位 「合葬型や期限付きの循環的に利用できる市民霊園」 14.0%

問 22 市営霊園を設置するにあたって東御市が取るべき措置として特に必要なものは何かと思いますか。(上位3つ)



市営霊園を設置するにあたって東御市が取るべき措置について、回答者の考える順位は以下の通りでした。

- 1 位 「自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする」 45.0%
- 2 位 「開園後の運営について配慮する」 30.0%
- 3 位 「緑地や広場などがあり公園のようにする」 25.0%